

学）が講演した。

演題は「腎臓リハビリテーションの深化をめざして」。楳野氏は、生活習慣病に伴う慢性腎臓病や腎不全の患者が増加する中、運動や栄養管理、薬物療法などを包括的にを行い、機能回復につなげる腎臓リハビリテーションの有効性について、海外での研究結果などを交えて説明した。写真。



岡山大病院の取り組みにも触れ、「医師や理栄養士、看護師、薬剤師がチームを作つて患者の指導に努めてい

る」と紹介。患者のQOL（生活の質）向上に向け、多職種によるチーム医療の重要性をショーンセンターで始まり、会長の楳野博史・日本腎臓リハビリティーション学会の学術集会が26日、岡山市北区駅元町の岡山コンベンションセンターで始まり、会長の楳野博史・日本腎臓病院長（腎臓病者約600人が聴いた。

全国各地の医療関係

岡山大病院

・

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。